

### 第3回嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会 会議要録

1. 審議会等の名称 第3回嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会
2. 開催日時 令和4年11月22日(火) 19時00分～20時25分
3. 開催場所 嘉麻市役所 5階 委員会室2
4. 公開または非公開の別 公開
5. 非公開の理由 (会議を非公開とした理由)
6. 出席者
  - (1) 委員  
井原委員 飯島委員 大田(晴)委員 山田委員 小野田委員  
大田(岱)委員 圓入委員 宮崎委員 深町委員 有田委員 緒方委員  
※欠席：高松委員
  - (2) 事務局  
総合政策課長 大村輝生 総合政策課長補佐 松隈康典  
地域活性推進係長 山口宏彰 企画調整係 児玉直人  
地域活性推進係 伊藤奈津
7. 傍聴人数 0名
8. 議題及び審議内容
  - (1) 第1回及び第2回会議要録について  
(事務局) 第1回会議要録についてご意見等あればお伺いしたい。また、第2回会議要録は本日配布としているため次回までにご確認いただき、第3回分と併せてお伺いする。  
(※意見等なし)
  - (2) 審議会スケジュールについて  
(事務局) 残り2回の審議で答申の予定であるが、現状スケジュールではかなり厳しいため2回程度審議を延長することについて委員の皆様からの意見を伺いたい。  
(会長) 審議会を翌年5月頃まで延長することについてご意見等あるか。  
(※意見等なし)  
(会長) 審議会の延長について決定する。
  - (3) 熊ヶ畑小さな拠点運営イメージについて(資料10)  
事務局より資料10について説明。  
(委員) 運営イメージの施設賃借料は光熱費込みか。なつきの湯を夫婦2人で利用した際、利用単価は2千円弱だった。  
(事務局) 光熱費込みであるかは定かではないが、条例上その金額になっている。  
(委員) あのスペースでこれだけの賃借料は高すぎる。  
(副会長) 条例では電気、水道及びガスの使用料とゴミに関する費用は使用者の負担と記載がある。  
(事務局) 次回提示する。ただ、必要経費のうち人件費が大部分を占めており、仮に賃借料が0であっても来客数イメージは記載のとおりとなる。

- (会 長) 施設の規模感を算定するのに必要な試算であることはご了承いただきたい。
- (委 員) 目標来客数 60 人に達するには 4 人掛けテーブル 8 席を全て埋め、それを 2 回転させる必要があり厳しいのでは。
- (委 員) レストランに関しては名物になるようなものがないと外から人を呼び込めない。地元の方は千円も使わないのではないのか。
- (委 員) 施設を作るかどうかの議論になってくるのか。
- (事 務 局) 議論の結果、収支がとれないと判断した場合はレストラン機能を設けないという判断も可能性としてあり得る。
- (委 員) 利用者は温泉を利用して美味しいものを食べたい。カフェのような軽食であれば運営もしやすいのでは。収支計画が軌道にのった際メニューを増やすこともできる。地元としてはその地域の美味しいものを食べてもらいたいという想いもある。
- (会 長) 飲食機能が必要かどうかであるが、委員の方々は厨房も含めた飲食スペースを設けることについては合意できるか。
- (※委員より了承)
- (委 員) レストランというものに囚われず、ある程度多様に使えるようにするとよい。
- (委 員) 厨房が立派でも全く活用できていない施設もあるため、もったいなく思う。そのような施設とならないようにしたい。

#### (4) 熊ヶ畑拠点施設配置の比較検討について (資料 1 1)

事務局より資料 1 1 について説明。

- (委 員) それぞれの運営が決まっていないため個人的には C 案に賛成である。温浴施設、レストランは別施設とし、温浴施設の 2 階を公民館にすれば分離可能。レストランと活性化センターの連携もとりやすい。
- (委 員) 活性化センターは改修のみとなるのか。
- (事 務 局) 改修を予定しているが、国庫補助金を活用しており間取りや名称を変更することは不可。
- (委 員) 和室は利用が少ないのでは。飲食スペースへ改修はできないのか。
- (事 務 局) 現状はヨガやキャンプなど一定の利用はあっている。起債償還期間があるため別の用途となれば全額返還ということになる。
- (副 会 長) 車両出入口は県道側になると高低差が出てくると思うが、現在図示している箇所からずらす事は技術的に可能なのか。
- (事 務 局) 今後詳細は警察との協議が必要になってくるが、突き当りの三叉路から距離をとったところである。また、位置をずらす事は可能であるが、勾配差の関係から事業費は上がる見込みである。
- (副 会 長) 施設規模は次回の審議でよいか。出入口場所について資料のとおり決定となれば、A 案は出入口と建物が近接しているため、建物の規模をこれ以上大きくする事は出来なくなる。
- (委 員) C 案の場合コストは変わらないのか。
- (事 務 局) 給排水や浄化槽の関係で事業費は上がる。
- (委 員) 計画敷地周辺には民家があるのか。
- (副 会 長) 数軒民家がある。そのうち一軒は大きな窓があり、景観も大きく変わる事になる

- (委員) 敷地の境界の作り方も十分考えなければならない。
- (委員) 民家の同意はとれているのか。
- (副会長) 敷地については書面で同意いただいている。計画について雑談程度ではあるが、否定的な意見は現時点で特に伺っていない。
- (会長) A案は施設と駐車場は並行でも問題ないのでは。方位はどうなっているか。
- (副会長) 図の上部が北側、下部が南側である。
- (会長) 日当たりに関して、民家へ配慮した配置案とともに大まかなゾーン、規模を提示していただけるか。面積についても他の事例などと比較できればお願いしたい。
- (委員) 近くに河川があるが、浸水したことはないか。
- (委員) 今までに浸水したことはないと記憶している。
- (事務局) 施設が出来れば避難所を兼ねることになるため、浸水想定区域であるかも踏まえ、委員長から提案のあった資料を次回提示したい。
- (副会長) 審議が2回増えるとの事です承したが、どの審議で何を決定するかなど、大まかなロードマップがあると審議がしやすい。
- (事務局) 次回精査して提示する。
- (委員) 基本設計が完成して、実際に施設建設出来る財源はあるのか。
- (事務局) 補助金は施設の内容により活用できるものが限られるため現時点で明確にお答えしかねるが、本事業着手の際、一定の財源については見込んでいるところである。

#### (5) その他

- (委員) 資料送付をもう少し早めていただきたい。
- (事務局) 審議会後コンサルタント業者に連絡し、資料について打ち合わせを行っているが、提示資料の添削や正副会長との打ち合わせを挟み審議会の直近になってしまっているところである。次回開催を1月とし、余裕をもって資料を送付する。

### 9. 配布資料

- ・資料② 第2回会議要録（熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会）
- ・資料10 熊ヶ畑小さな拠点運営イメージ
- ・資料11 施設配置比較検討表